

キャンプディレクター2級養成講習 開催要項



×



×



YMCA 総合研究所は
日本キャンプ協会課程認定団体 WilderNESS Education Association Japan 団体メンバー LEAVE NO TRACE Japan 団体エデュケーショナルメンバーです

主催：YMCA 総合研究所
後援：(公社) 日本キャンプ協会
日時：2025年11月1日(土) 10時集合～3日(祝) 18時解散 2泊3日
会場：六甲山YMCA、六甲山域 〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲 875
対象：有効なキャンプインストラクター資格をお持ちの方で以下の受講要件を満たしている方
キャンプインストラクター資格取得後



・アウトドア活動参加経験2回以上 ・1泊以上のキャンプ指導経験1回以上

定員：12名(最少催行6名) 先着順

受講料：24,000円

別途 テキスト代2,200円「キャンプディレクター必携」第3版(日本キャンプ協会編)

2日目昼食代(摩耶山カフェ 各自)、入浴料 温泉450円(各日)

資格：すべての講習を満足に修了し修了試験に合格され登録手続きを完了した方は、キャンプディレクター2級資格を取得することができます

講習会終了後日本キャンプ協会より可否が通知され登録費用11,000円を振り込む必要があります

締切：2025年10月3日(金) 17時

キャンセル規定を設けています。申込時にご確認ください

申込み：申込フォームよりお申し込みください

問合せ：outdoor-training@osakaymca.org または 080-9064-4325 (公用携帯)



キャンプディレクター2級とは

- ・ キャンププログラムの企画、実際の運営・評価を行い、キャンプの運営に必要な実務的マネジメント担うことができる指導者です。
- ・ テキスト「キャンプディレクター必携」(第3版)を用い、事前レポート課題40時間、実講習20時間学習します

YMCAが実施する講習の特徴

- ・ 指導法、環境倫理、安全のグローバルスタンダード有資格認定指導者が全人的に指導します
- ・ プログラムディレクター、マネジメントディレクターに必要な理論と野外生活技術を身につけます
- ・ 野営地への野外遠征で1泊し国際基準の野外スキル(WEA6+1)を体験します
- ・ 野外遠征を通じてキャンプ指導者としての知識と技術を実践的に習得します
- ・ WEAカリキュラム(WEA6+1)を通じて、野外遠征の魅力人を人に伝えることができます
- ・ WEAのアウトドアリーダーエクスペリエンス修了証(無料、期限なし)を取得できます
- ・ 1年間のWEAJの準会員の権利(実質5,000円の価値)が得られます
- ・ 環境倫理プログラムリーブノートトレースを体験しワークショップ修了証を取得します
- ・ 食事はグループ調理と受講者自身が食材を持参するソロクッキングです
- ・ 野外装備(リュック、テント、マット、寝袋、バーナー、コッヘル)は持参/無料で貸し出しします
- ・ 講習終了後も専用サイトで学びをサポートし、救急法や野外救急法、リーブノートトレース講習の案内や指導機会の提供、D1取得への支援をします



内容

レポート課題 40時間 (日本キャンプ協会が提供する教材で行う内容)

- ・ 全ての科目が含まれています。※講習会前に送付 解答を済ませて講習会受付で提出

実講習 20時間

- ・ キャンプディレクター1級・2級共通(はじめに)
- ・ キャンプディレクターの役割とキャンプカウンセリング
- ・ プログラムの安全管理 ・ プログラムのマネジメント(企画・運営・評価・改善)

レポート課題内容をふまえ、プログラムの企画運営について学び、プログラムの立案とプレゼンテーション、評価をおこないます。プログラムのマネジメントについても学びます

アクセス 最も便利なアクセスは自家用車になります

【自家用車】六甲山YMCA 駐車場をご利用いただけます（無料）

- ・ カーナビゲーションで六甲山YMCA を検索してください
- ・ 六甲山南側から来られる場合、以下ご注意ください
- ・ 旧六甲有料道路・表六甲線→丁字ヶ辻・右折 100m 左側にYMCA 看板があります

※旧六甲有料道路入り口には「有料道路」とありますが途中まで無料です

※六甲山頂と三田・有馬の分岐では、左方向 六甲山頂 へお進みください

※トンネルに入ると有料道路で道間違えです。その場合は裏六甲線で六甲山上へ来れます

【タクシー】公共交通機関でお越しの方は、阪急六甲駅からタクシーの利用をおすすめします

- ・ 最寄 阪急六甲駅～六甲山YMCA 約 25 分 2,600 円～3,300 円程度

【バス・ケーブルカー】午前 10 時の集合時間に間に合うよう各運行会社 HP 等でご確認ください

- ・ バス：16 系統（神戸市） 六甲ケーブル下行 阪急六甲駅→六甲ケーブル駅下 220 円
- ・ ケーブルカー：六甲ケーブル下駅→六甲ケーブル山上駅 1,200 円
- ・ 山上バス 六甲摩耶スカイシャトルバス：六甲山上駅→丁字ヶ辻バス停車 210 円
- ・ 丁字ヶ辻バス停から六甲山YMCA まで徒歩 1 分

撮影について

- ・ 講習中の様子を講師が撮影し、YMCA、日本キャンプ協会、鳥取県および広島県キャンプ協会、Leave No Trace Japan、Wilderness Education Association Japan の広報に利用する場合があります
- ・ 受講者の皆様の撮影については全員の同意が得られた場合可能とします
- ・ 講習の全録画、全録音、リアルタイムでの SNS 等アップは禁止します

ルールとマナー

- ・ 講習会中は終日禁煙です
- ・ 講習会中の外出は原則できません
- ・ 指導者にふさわしい服装、言動をお願いいたします

宿 泊

- ・ 宿泊はテント泊になります。テント、スリーピングマット、寝袋を貸し出します
- ・ 寝袋、スリーピングマットをお持ちの方は持参してご利用いただいで結構です

入 浴

- ・ 2 日ともは近隣の温泉を利用します。入浴料 450 円（各日）は各自負担となります。シャンプー、ボディソープ等はありませんので持参して下さい

そ の 他

- ・ スマートフォン等電波状況は ドコモ◎ au○ Softbank△ です
- ・ 周辺には小さな商店が 1 軒ある以外、コンビニエンスストアなどはありません
- ・ 摩耶山頂に自動販売機があります
- ・ キャンプの事前準備、キャンプ中の行動は Leave No Trace の 7 つの原理を参考にします。

食 事

- ・ 1 日目昼食（飲み物含む）は、持参になります。お弁当と飲み物を持参してください
- ・ 1 日目夕食はグループ自炊となります。材料は提供します
- ・ 2 日目朝食と夕食、3 日目朝食はソロ自炊となります。食材、調味料等全てご持参ください
- ・ シングルバーナー、コッヘル（1～2 人用の鍋）を貸し出します。お持ちの方は持参して自分のものをご利用いただいで結構です
- ・ シングルバーナーガスカートリッジは有料（660 円／1 缶）となります
- ・ おいしく必要なカロリーが摂取でき、調理が簡単で、環境への負荷がミニマムになることを考えて、メニューと食材を決めてください。なるべくコッヘル 1 つで調理できると良いですが、お湯だけ沸かしてレトルトだけ、カップラーメンだけ、缶詰めだけはご遠慮ください
- ・ ソロ自炊はキャンプサイトまたは室内で行い水道がありますが、ナルゲンボトルに入れて運びます流しや調理場はありません
- ・ 保冷が必要な食材は冷蔵庫をご利用いただけます。記名したビニール袋などをご準備ください
- ・ お茶、コーヒー等の飲み物をご持参ください。持参する食材と同じく、ごみを出さない／減らす／適切に処理することを考慮したものをお選びください
- ・ 2 日目昼食は摩耶山頂カフェでグループ毎にまとめておとりください。会計は各自になります。ま

た、トレッキング中に補給する栄養価が高く、軽量で腐りにくいもの（魚肉ソーセージ、エネルギーゼリー、アメ、塩分タブレット等）をご準備ください

食事一覧

	1日目	2日目	3日目
朝食	-	ソロ自炊（持参）	ソロ自炊（持参）
昼食	弁当（持参）	山上カフェ	給食（提供）
夕食	グループ自炊（提供）	ソロ自炊（持参）	

食材の購入・食事作り、メニュー例については、事前に以下の動画（QRコードより）をご覧になり参考にしてください。LEAVE NO TRACE の実践となります。「山飯」等で検索すると他の情報を得られます。

ゴミを出さないために

#3 キャンプゴミの処理 キャンプでゴミを出さない処理の方法



参考メニュー

トマトソースパスタの作り方



ホワイトソースパスタの作り方



パンの作り方



おかゆの作り方



持ち物

✓	品目	備考 LNT7原則1 事前の計画と準備
	テキスト「キャンプ指導者入門」	キャンプインストラクター講習で使用したもの
	テキスト「キャンプディレクター必携」	事前課題と一緒に郵送します
	防寒着	ダウンジャケット、フリース、手袋他
	帽子	トレッキング等屋外活動時の頭部保温のため
	シャツ（半そで、長袖）	施設内外、トレッキング、着替用等
	トレッキング用長ズボン	施設内外、トレッキング、着替用等
	トレッキング用靴下	施設内外、トレッキング、着替用等
	雨具（上下セパレート）	施設内外、トレッキング用
	室内履	
	トレッキングシューズ	トレッキング用 ローカット可
	リュックサック	トレッキング用
	ヘッドライト（予備バッテリー含む）	両手が使えるヘッドライトが望ましいです
	ロープ（長さ2m,太さ6mm以上）	ロープワーク用
	軍手	野外炊事用 綿100% 滑り止めゴムのないもの
	筆記用具	
	スマートフォン、予備バッテリー	
	タオル	
	洗面用具	シャンプー、ボディソープ各自持参
	ビニール袋 45ℓ 3枚程度	荷物の防水やごみ入れに
	ジップロック（S,M,L）各2枚程度	トレイルフードを入れたりします
	1ℓ以上のウォーターボトル	ナルゲンボトルがのぞましい
	ファーストエイドキット	
	マッチ（ライター）	ソロクッキング／グループ調理用
	布巾、雑巾	ソロクッキング／グループ調理用
	ナイフ（調理用）	ソロクッキング／グループ調理用
	まな板	ソロクッキング／グループ調理用
	はし、フォーク、スプーン	同上 使い捨てでないもの
	ゴムへら	ソロクッキング／グループ調理用
	食器（お皿、お椀など）	ソロクッキング／グループ調理用
	弁当、飲み物	1日目昼食
	自炊食材・調味料（3食分）	前述の資料を確認の上ご持参ください
	トレイルフード（トレッキング時）	前述の資料を確認の上ご持参ください
	保険証	
	受講料、テキスト代	合計 26,200円 ※現金のみ 釣銭のないように
	温泉入浴料	450円 各自支払いとなります

※その他、必要と思うものがあればご持参ください

以下のサイト（動画）を必ずご覧になり、そのトで各自工夫してご準備ください

[【#1 キャンプの準備の仕方】](#)

[登山やキャンプの事前の計画と準備の仕方](#)



[【#2 登山とテント泊】](#)

[自然に影響の少ない山の登り方](#)



プログラム（予定）

1日目 11月1日（土） 日出：6:11 日入：17:11 月齢：10.6 月出：14:28 月入 01:02	
10:00	集合・受付 開講式 オリエンテーション 人間関係作り 講義：「キャンプディレクター1級・2級共通（はじめに）」
12:00	昼食（持参弁当）
13:00	講義 「キャンプディレクターの役割」
14:30	講義・演習 「キャンプディレクター2級として求められる安全管理の考え方」 「プログラムにおける安全管理の実際」
15:30	テント設営 ロープワーク、野外生活技術
16:00	演習・グループ調理 「プログラムのマネジメント」 「プログラムにおける安全管理の実際」
17:00	夕食 グループ調理 片づけ
18:30	入浴出発 近隣温泉入浴
20:30	情報交換機
22:00	就寝

※天候等により予定を変更する場合があります

プログラム（予定）

2日目 11月2日（日） 日出：6:15 日入：17:10 月齢：11.6 月出：14:56 月入 02:09	
6:00	起床 朝食 ソロクッキング
8:00	講義・演習 「プログラムの企画」 「プログラムの評価」
10:00	トレッキング準備 トレッキング出発 「プログラムのマネジメント」
12:00	摩耶山頂掬星台 昼食（カフェ 702 予定） 「プログラムにおける安全管理の実際」
15:00	帰着 「プログラムの企画」
16:30	演習 「プログラムのマネジメント」 「プログラムにおける安全管理の実際」
17:00	夕食 ソロクッキング 片づけ
18:30	入浴出発 近隣温泉入浴
20:30	演習 「プログラムの企画」 続き 企画意図の提出、個人企画
22:00	就寝

※天候等により予定を変更する場合があります

プログラム（予定）

3日目 11月3日（日） 日出：6:16 日入：17:09 月齢：12.6 月出：15:24 月入 03:17	
6:00	起床 朝食 ソロクッキング
8:00	演習 「プログラムの企画・運営」準備
10:00	演習 「プログラムの企画・運営」発表 「プログラムの評価」
11:30	まとめ 「プログラムの企画・運営・評価」
12:00	昼食 給食
13:00	講義 「キャンプカウンセラーへのスーパービジョン」
14:30	自習時間
15:30	修了試験
17:00	事務手続き 閉校式
18:00	終了

※天候等により予定を変更する場合があります

LNT 7 原則

原則1 事前の計画と準備 (Plan ahead and prepare)

- ・行き先のルールや注意することを知ろう
- ・悪天候や緊急時に備えよう
- ・ピークシーズンや混雑する時間帯を避けよう
- ・できるかぎり少人数のグループで活動しよう
- ・できる限りゴミが少なくなるようにパッキングしよう
- ・標識に頼らずに地図とコンパスを使おう

原則2 影響の少ない場所での活動 (Travel and camp on durable surfaces)

- ・指定地、岩、砂、雪、乾いた草など頑丈な土地の上で活動しよう
- ・キャンプサイトは水辺から60m以上離れたところを見つけよう
- ・よいキャンプサイトは作るのではなく見つけよう

よく使われている場所では

- ・指定のトレイルやテントサイトを利用しよう
- ・トレイルがドロドロでも真ん中を歩こう
- ・キャンプサイトは植生が少ない場所にできる限り小さく設営しよう

ほとんど使われていない場所では

- ・人が入っていないところではキャンプサイトや歩行を分散させよう
- ・インパクトが始まりかけた場所は避けよう

原則3 ゴミの適切な処理 (Dispose of waste properly)

- ・すべてのゴミや食べかすを持ち帰ろう
- ・キャンプサイトや休憩場所を離れる時にゴミを確認しよう
- ・トイレは水辺、テントサイト、トレイルから60m離れたところを見つけよう
- ・トイレは20cm程度穴を掘って行き、終わったらしっかり埋めよう
- ・トイレトペーパーは持ち帰ろう
- ・食器は水辺から60m離れたところで、必要最小限の天然洗剤で洗おう
- ・食べかすはこし網で取り除こう

原則4 見たものはそのままに (Leave what you find)

- ・文化的、歴史的遺跡は触れずに見るだけにしよう
- ・石、植物等すべての自然物は置いて帰ろう
- ・外来生物を運んだり、持ち込んだりするのを避けよう
- ・木で何かを作ったり穴を掘ったりしないようにしよう
- ・キャンプサイトはもとどおりにしてから出発しよう

原則5 最小限のたき火の影響 (Minimize campfire impacts)

- ・できる限りストーブを使うようにしよう
- ・たき火をするときは焚き火台やマウンドファイヤーを使おう
- ・たき火の大きさは必要最小限にしよう
- ・薪には手で折れる程度の落ちている枝だけを使おう
- ・すべての薪が灰になるまで燃やそう
- ・灰は完全に消火してからバラまこう

原則6 野生動物の尊重 (Respect wildlife)

- ・野生動物は遠くから観察しよう
- ・野生動物にエサをあげないようにしよう
- ・食べ物に野生動物が近づかないようにしよう
- ・ペットはいつもつないでおくか、家に置いてこよう
- ・子育てや巣作りなどをしている野生動物には近づかないようにしよう

原則7 他のビジターへの配慮 (Be considerate of other visitors)

- ・他のビジターの体験の質を保とう
- ・他のビジターとスペースを譲り合おう
- ・他のビジターとすれ違うときは登りの人を優先しよう
- ・キャンプや休憩はトレイルから離れて行おう
- ・自然を静かに楽しもう